

The Learner

Doshisha International Academy Elementary School

March
ISSUE



March, 2022
Volume 121

さらに前へ

朝夕の冷え込みはまだまだ続いていますが、風にも日差しにも少しずつではありますが春らしさを感じられるところとなりました。

保護者、ご家族の皆さまには、平素より同志社国際学院初等部の教育活動にご理解、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

1月下旬からは、京都、大阪、兵庫に再びまん延防止等重点措置が適用されるなど、昨年引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されるなか、学校での授業や行事は、休止や延期、実施方法の変更等で対応することを余儀なくされております。皆さまには、ご不便ご迷惑を掛けることとなっておりますが、本校の学校運営ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

子どもたちは3月を迎え、残り少なくなった冬学期ですが、各学年がそれぞれのゴールを目指し、さらに次の学年や進学への意識を高め、一步一步、一段ずつと歩みを進めています。

ご家庭におきましても1年間を通して、子どもたちの勉強や校外での活動、夢の実現のために日ごろから頑張っていること等について、出来たこと、出来なかったことを振り返り、4月からの新しいステップを前に新たな目標を設定するなど、準備をお願いしたいと思います。もし目標が高いところにあるのであれば、目標をブレイクダウンし、その目標を達成するために必要となる実現可能な目標を細かく設定するとよいかもしれません。

今、世界で注目されている日本人のひとり大谷翔平選手は、メジャーリーグでMVPを受賞し、投手として、打者として多くの快挙を成し遂げました。彼は高校一年生の時、すでに「8球団からドラフト1位の指名を受ける」といった目標を掲げ、その目標の実現に向けて、何が必要で、何をなすべきかを

書いた目標達成表（マンダラートと言うそうですが）を作成しています。

そこには、「8球団からドラフト1位の指名を受ける」ために必要な事柄が8つ書かれています。例えば、「体力づくりに励む」には、「ごはんを朝3杯、夜7杯食べる」や「スタミナをつける」です。また、「投げるボールのスピードが160Kmとなるようにする」ために、「体重を増やす」、「ライナーキャッチボールをする」を、「人間性を豊かにする」ためには、「思いやりを持つ」、「感謝の気持ちを大切にすること」などが具体的に書かれています。

夢や目標に向かって、自分がすべきことを考え、それらを達成するために、自分の出来る、手の届く目標を細かく、わかりやすく設定したうえで実行することの大切さを私たちに教えてくれています。子どもたちにも少しずつの努力や頑張り、手の届く目標を一つずつ達成し、大きな夢の達成へと繋げてほしいと思います。

全学年が、この時期に大きな育ちを見せてくれます。すべての子供たちが「さらに一步前へ、さらに一段高く」の気持ちで毎日を過ごせるよう、そして、次の学年、中学校でのよいスタートにつながるよう、教職員一同、今後も指導の充実に一層力を注いでまいります。

3月16日、本校では8回目の卒業式が開催されます。長く続くコロナ禍にあって制約の多い学校生活を送ってきましたが、そのような中でも毎日を笑顔で過ごし、最高学年として、しっかりと学校全体をリードしてくれました6年生60名を送りだします。めでたくもあります寂しいものでもあります。6年生には、中学校でのなご一層の活躍を願ってやみません。

校長 谷本高彦



キリスト教教育

3月：赦し March: Forgiveness

「よくよく言うておく。

人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。」

(聖書協会共同訳 ヨハネによる福音書 3章 3節)

「私たちの主イエス・キリストの父なる神が、ほめたたえられますように。

神は、豊かな憐れみにより、死者の中からのイエス・キリストの復活を通して、

私たちを新たに生まれさせ、生ける希望を与えてくださいました。」

(聖書協会共同訳 ペトロの手紙一 1章 3節)

私は普段、宗教科を担当していますが、初等部のクラブ活動ではクラフト・クラブの顧問でもあります(現在6年生のみ活動)。昨年、部活動の中でクレイアニメの制作を行いました。

どれも力作揃いでしたが、特に現在の私の心境にピタリと当てはまる作品が二つあり、とても興味深かったので、ここで内容をご紹介します。

一つ目はエリック・カールの「はらぺこあおむし」のお話を一部動画にしたもので、緑色の元気な芋虫がりんごやバナナなどの果実を次々に齧っていきます。二つ目は黄色の芋虫が這っていると、ぶつかった何かの物体と合体し、芋虫の姿は消えて赤い笠を着たキノコの姿に変身し、すくくとそこへ佇みます。

この二つの動画は別々の部員が作成したのですが、続けて見るとまるで連続した作品のようです。つい先ほどまでご馳走をたくさん食べて元気に動いていた芋虫が、突如何かに取り込まれ、キノコという全く別の存在になってしまうのです。



これは決してファンタジーではなく、冬虫夏草といって現実にある話です。冬虫夏草一冬は虫の姿をしているのに夏になると草(キノコ)の姿に変わる。これはキノコが昆虫類に寄生し、その栄養分を吸収して成長したもので、見た目は虫との合体に見えますが分類学上はもはや虫ではなく、キノコとして扱われるそうです。じっと眺めていると決して気持ちのいいものではありませんが、この冬虫夏草は古来中国で不老長寿の薬として珍重され、現代でも漢方薬や薬膳料理の材料として珍重されています。人間は食物連鎖の頂点に立って命を寿いでいますが、こんなところでも他の生物の恩恵に預かっていることに、ほとんど感心しました。



しかしながらこの度私が申し上げたかったことはまた別の事柄で、毎年今の時期に感じる、どうしようもない寂寥感です。3月は別れの季節であり、特に長年DIAと一緒に過ごしてきた6年生児童らを外へ送り出さねばならないことは、本当に辛い時があります。彼らの成長にとって、卒業して上へ上がることは絶対に必要な過程であることは頭ではわかっているけれども、「明日からはもう会えない。たとえ今後会うことがあったとしても、もう以前の彼らではない。」と思うと、何とも言えない寂しい気持ちになるのです。

しかしそんな時、聖書の言葉は慰めになります。「新たに生まれる。」そう、過去に止まらず、日々新しい自分に生まれ変わるのです。教えられた側だけではなく、教えていた側も。

今は寂しくとも、4月になればまた、お互いに新しい出会いがあることでしょう。



HOPE



Christian Education Committee チャプレン 石川眞弓

<お知らせ>

今月の「おにぎり献金」は、3月11日(金)の「東日本大震災を憶える礼拝」に合わせます。

当日のランチタイムに宗教委員が各教室を回って献金を集めますので、ご協力をよろしく申し上げます。なお、感染症予防のため、献金は必ず封筒などに入れてお持たせください。

1年間の「おにぎり献金」と共に、金額と送金先の詳細は次年度春学期中にご報告致します。

Grade 6 Unit 5 Who We Are → Exhibition

「人々の情熱や才能は、社会を貢献するための原動力となる。」

これは、6年生の Unit 5 の Central Idea です。この1文を見たとき、自分の才能って何だろう？情熱をささげるもの？社会貢献って？と考え込んでしまいませんか？

6年生の Unit 5 は、DIA 6年間の集大成エキシビションが開催される Unit でもあります。IB教育は、教育の根底として「より良い平和な世界を気付くための貢献できる人材育成」を掲げ、その実現のために、教科横断的な学びや主体的な学びが重視されています。本校では、6年間を通してそれぞれの Central Idea を、座学だけではなく体験活動やその道のプロフェッショナルの方からの講義、課題を解決するための主体的なアクション・・・など、様々な方向から学んできました。今まで子ども達が探究型学習で培った様々な力を卒業研究発表会として全校規模で開催されるのがエキシビションです。児童一人ひとりがトピックを決め、それぞれがもつ課題を、アクションを通じて解決していこうとする活動は、まさに、Central Idea の「人々の情熱や才能は、社会を貢献するための原動力となる。」につながり、IBの目指す全人教育に一步近づきます。

では、エキシビションまでどう探究を進めてきたのでしょうか？今回は、PYP コーディネーターの先生と共に、どのように学びを進めていったのか紹介させていただきます。右の写真をご覧ください。

こうした歩みを経て、2月24日（木）と25日（金）にエキシビションを開催することができました。Covid 19 の状況が刻一刻と変わる中、開催が危ぶまれることもありましたが、「絶対開催する」とどんな状況でも開催できるように、管理職の先生方、専科の先生、今まで子ども達のメンターとして支えてくださった先生・・・様々な先生方が、最高のパフォーマンスができるよう開催案を練ってください、当日を迎えることができました。「人々の情熱や才能は、社会を貢献するための原動力となる。」まさに、子ども達の探究する姿勢が、私達大人をも巻き込んだエキシビションとなりました。

学びの集大成であるエキシビション、来年の「情熱や才能」はどういったものが見られるのでしょうか？ぜひ楽しみにしていてください。

○エキシビションクラススタート



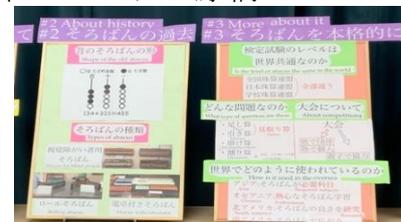
○Key Concepts を活用してトピックを探究



○Lines of Inquiry (章立て) & アクション



○ディスプレイ& 原稿



エキシビション当日！！！！





からのおしらせ

旅立つ人たちへの言葉のプレゼント

3月 は年度最後の月。卒園式や卒業式が執り行われるこの月は、淋しくもあり、しかし新しい世界へ旅立つ人たちに応援したい、人々の温かな思いがよぎる月です。そんな月に是非読みたいのが今回紹介する2冊です。

「はじまりの日 forever young」 ボブ・ディラン、岩崎書店



この本は、2016年にノーベル文学賞を受賞したボブ・ディラン氏の歌“Forever Young”がもとになってできた絵本です。歌詞に合わせたイラストが描かれ、旅立つ人にエールを送ります。

May God bless and keep you always
 May your wishes all come true
 May you always do for others
 And let others do for you...

きっと、歌詞に心打たれるのではないのでしょうか。

「たくさんのドア So Many Days」 アリソン・マギー文、ユ・テウン絵、なかがわちひろ訳 主婦の友社



この本は、これから様々な経験をして大きくなっていく子どもたちに贈られる温かいメッセージとともに展開していきます。「あなたはどんなひとになり、いったいどこへいくのだろう。どうやってこたえをみつめていくのだろう。」「あなたはまだ知らない。じぶんが

どれほどつよいかを。」「きょうもあしたも あなたはたくさんのドアをあけていく。そのむこうにたくさんのあたらしいことがまっている。」心にしみる言葉を、4月から新しい場所に旅立つ人に贈ってみませんか。

3月の主な行事・予定

1	火	報告会 G2, 6-2 Term Report (Zoom)
2	水	報告会 G3 Term Report (Zoom)
3	木	報告会 G1 Term Report (Zoom)
4	金	報告会 G4, 6-1 Term Report (Zoom)
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	6年生を送る会/ G6 Farewell Event
9	水	
10	木	
11	金	震災を憶える礼拝/ Tohoku Earthquake Memorial Worship Service
12	土	
13	日	
14	月	学期末カンファレンス (午前授業)/ Term-end Conferences (AM lessons)
15	火	学期末カンファレンス (午前授業)/ Term-end Conferences (AM lessons)
16	水	卒業式/ Graduation Ceremony
17	木	午前授業/ AM lessons
18	金	修了礼拝/ Closing Worship Service (午前授業)/ (AM lessons)
19	土	
20	日	春分の日/ Vernal Equinox
21	月	春季休業/ Spring Break
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

4月の主な行事・予定

4/8	始業礼拝/ Opening Worship Service (午前授業)/ (AM lessons)
4/12	入学式/ Entrance Ceremony (午前授業)/ (AM lessons)